

JPAF演出家コンクール

「利賀サマー・アーツ・プログラム」の中でも特に注目すべき事業は、〈JPAF演出家コンクール〉です。このコンクールは、日本ではじめて開催される演出家対象のコンクールで、21世紀に向けて才能ある演出家を発掘し、その表現活動を支援することを目的としています。今夏、利賀では、コンクールの二次審査の上演をご覧いただけます。21世紀を展望できる多くの才能ある演出家との出会いにご期待ください。

〔審査員〕石澤秀二・伊藤裕夫・衛紀生・菅孝行・越光照文・鈴木忠志・高田一郎・原田一樹・平田オリザ・宮城聰・森秀男・安田雅弘・山村武善

舞台公演プログラム

演出家コンクールの時期に重ねて開催される公演プログラム。北九州と東京の若手劇団と、利賀の劇場を舞台に数々の名作を創ってきた鈴木忠志の演出作品(SPAC制作)の競演。鈴木作品は、静岡、デルフィ(ギリシア)を巡った新作『オイディップス王』と第2回シアター・オリンピックスのオープニングを飾った『シラノ・ド・ベルジュラック』の2作品の上演です。

●生態系カズクン 作・演出：泊 篤志／飛ぶ劇場

九州の片田舎、とある旧家の葬儀の日。おばあちゃんの棺桶を囲んで、一族と、猫に似た動物〈カズクン〉のあるがままの日常が描かれる。島原弁による会話で、家族のあたたかさ、厳しさを淡々としかし明るく映し出す本作品は第3回日本劇作家協会新人戯曲賞受賞。活躍めざましい泊篤志を擁し、さまざまな言語が飛び交う【4ヶ国語芝居】など幅広い表現で知られる北九州の劇団〈飛ぶ劇場〉、利賀初登場。

●LOCK 作・演出：夏井孝裕／reset-N

写真展前夜のギャラリー。到着した写真に写っていた女は、ギャラリーに勤めていた青年がかつて愛し、捨てた女だった…。「都市生活の中での痛みと叫びと喜びと悲しみ」をメッセージとする〈reset-N〉、利賀に向けた『LOCK』改訂版。第4回日本劇作家協会新人戯曲賞を受賞した夏井孝裕率いる〈reset-N〉が、東京という都市のリアルな手触りとシャープな演劇センスで利賀山房に挑む。

●オイディップス王 原作：ソフォクレス 演出：鈴木忠志

知らずして父を殺し、母イオカステを妻としたテーバイの王オイディップスは、真相を知り、自ら両の目を突いて盲目となり、放浪の旅に出る…。ギリシア悲劇の最高傑作を伝統的な空間感覚を駆使して新しいスタイルの作品に再創造した鈴木演出最新作。野外劇場を包む空気を切り裂く音楽とともに、運命に呪われ、翻弄された一族の没落の様子が刻まれていく。

●シラノ・ド・ベルジュラック 原作：エドモン・ロスタン 演出：鈴木忠志

鼻の大きなシラノは、従妹のロクサーヌを愛していたが、彼女は美貌のクリスチャンを愛していた。シラノは自分の思いをロクサーヌに伝えるため、クリスチャンの恋文を代わりに書き、ロクサーヌは、その恋文の素晴らしい愛を深く愛することになる…。鈴木演出では、シラノの物語が、喬三という日本人の作家が書いたものとして描かれ、作家喬三と作中人物シラノが二重書きで存在する。音楽にヴェルディ「椿姫」を配し、終幕を花火で彩る鈴木版純愛物語。

公演スケジュール▶

JPAF演出家コンクールの上演は、8月2日(水)～10日(木)および17日(木)～25日(金)の間にご覧いただけます。詳細はお問い合わせください。

8月	4(金)	5(土)	6(日)	26(土)	27(日)
利賀山房		飛ぶ劇場 生態系カズクン 6:30PM	飛ぶ劇場 生態系カズクン 4:00PM	reset-N LOCK 4:00PM	reset-N LOCK 1:00PM
新利賀山房			「舞台芸術財団発足にあたって」 公開討論会 & スズキ・メソッド・ デモンストレーション 1:00PM		
野外劇場	鈴木忠志演出 オイディップス王 8:30PM	鈴木忠志演出 オイディップス王 8:30PM		鈴木忠志演出 シラノ・ド・ベルジュラック 8:30PM	
スタジオ				利賀会議2000 1:00PM	

● 海外戯曲部門

開催期間
8月2日～10日

課題戯曲

「バーサよりよろしく」	作者	テネシー・ウィリアムズ	上演数(予定) 5作品
「戦場のピクニック」	作者	フェルナンド・アラバル	3作品
「あしおと」	作者	サミュエル・ベケット	4作品

● 国内戯曲部門

開催期間
8月17日～25日

課題戯曲

「紙風船」	作者	岸田國士	上演数(予定) 4作品
「棒になった男(第3景)」	作者	安部公房	4作品
「マッチ売りの少女」	作者	別役実	5作品

利賀会議2000

21世紀の日本と世界の文明・文化について各界の第一者が討議し、提言をする「利賀会議」。毎年開催する会議の第一回。

「舞台芸術財団発足にあたって」 公開討論会&スズキ・メソッド・ デモンストレーション

2000年3月に設立された財団法人舞台芸術財団演劇人会議の理念と活動ビジョンについて、理事長の鈴木忠志が発表、質問にも答える。また、公開機会の少ないスズキ・メソッドを、鈴木忠志自身が解説、俳優陣がデモンストレーションを行う。

アーティスト・イン・ レジデンス

○8月7日(月)～15日(火)

○8月12日(土) 公開通し稽古(予定)

青年団および「月の岬」プロデュースによるレジデンシー・プログラム。平田オリザ演出『月の岬』の立ち稽古を原則として公開する。一般観客に、創作の秘密や緻密な演出プロセスなどを実験してもらう。(一般の方は稽古に参加することはできません)

大学生創作 ワークショップ

○8月7日(月)～10日(木) ○8月10日(木) 発表会(予定)

桜美林大学文学部総合文化学科演劇専攻生(30～50人)の滞在型創作ワークショップ。

全国の大学生による「学生演劇フォーラム」の開催。

高校生 夏期演劇講習

○8月17日(木)～19日(土)

富山県下の高校演劇部の生徒(約130人)を対象とした演劇ワークショップ。身体のセンスを磨くためのトレーニングを中心とした3日間。